

事務事業名(細目)	麓山町の観光ビジネス構築モデル事業	担当部課	生野支所地域振興課
予算コード	02 - 01 - 11 - 201 - 01		
※: 総務費	項: 総務管理費	目: 生野支所費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちで働く(社会増促進)		事業開始年度	評価区分	評価
	4	持続的な定住に向けた施策の推進	H 25	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	平成26年から27年に招致した外部専門家の助言を踏まえ、朝来市創生推進人材プロジェクト事業(経費分)に予算を変更し、町家活用・文化体験・文化財への宿泊を主眼とし、顧客ニーズの把握と、今後の空き家活用等についての方向性を模索するため、社会実験的にイニシャルコストが安価である甲社宅2棟を改修し宿泊体験を実施する中で、訪れた観光客を街の中心地から黒川地域等への誘導する仕組みづくりを検討する。				
事業の受益者(対象者)	観光客	受益者数(対象者数)	35,000	単位	人
事業の実施内容等	島根県邑南町では、「瑞穂ハンザケ自然館」を中心として、特別天然記念物オオサンショウウオの研究・保存を行うとともに、町の観光資源の一つとして活用を行っている先進地であり、PR方法と連携イベントについての視察を行う。				

2. 事業費等(単位:円)

節区分	平成28決算(円)	説明等	前年度決算(円)
8.報償費	0	専門家招へい謝礼	1,208,250
9.旅費	21,160	専門家招へい旅費・職員旅費	612,549
合計	21,160		1,820,799
財源内訳	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	地方債		
一般財源	21,160		1,820,799
合計	21,160		1,820,799
国庫支出金を除いた比率	100.00%		

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

[1]節区分	[2]説明	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
8.報償費	専門家招へい謝礼		5,074,500	1,208,250	
9.旅費	専門家招へい旅費・職員旅費		612,549	198,702	21,160
11.需用費	講演会チラシ印刷費		25,920		
12.役務費	講演会チラシ折込手数料		9,558		
事業費計		0	5,722,527	1,406,952	21,160
[4]正規職員人件費			4,449,000	1,715,000	709,700
[5]臨時職員人件費					
[6]総合計		0	10,171,527	3,121,952	730,860
財源内訳	特 [7]国庫支出金			0	0
	定 [8]県支出金			0	0
	財 [9]地方債			0	0
	源 [10]その他			0	0
	[11]一般財源	0	10,171,527	3,121,952	730,860
	[12]合計	0	10,171,527	3,121,952	730,860
[13]国庫支出金を除いた比率	#DIV/0!	100.00%	100.00%	100.00%	

4. 成果指標等

[1]事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
市民を交えた指導・講演等回数	数		16	3	0
先進地視察	数				1
<変化の理由> 平成27年度より外部専門家を招へいしないことにより派遣回数は皆減となった。 訪れた観光客を街の中心地から黒川地域へ誘導する仕組みづくりのため、先進地の視察を行った。					
[2]事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
市民を交えた指導・講演等参加者数	人		295	39	0
<変化の理由> 平成26年度は講演会を実施したことにより増加している。					

5. 今後の方向等

	①	②	③
現在認識している課題	歴史観光施設等を中心として、町の中心部には多くの観光客が訪れるが、地理的要因等から、黒川地域等へ誘導することが出来ていない。		
今後の方向性、見直し等	平成29年度は生野支所主業事業である黒川地域等誘導化事業の中で、オオサンショウウオの地黒川温泉等をさめ、観光客増加に繋がる取組を行う。		

6. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	25年度	26年度	27年度	28年度
市民を交えた指導・講演等参加者数		34,480	80,050	0

《変化の理由及びそれへの対応策》
 平成27年度より外部専門家を招へいしないことにより派遣回数は皆減となった。又、訪れた観光客を街の中心地から黒川地域へ誘導する仕組みづくりのため、先進地の視察を行い、今後は、平成29年度の生野支所主要事業である黒川地域等活性化事業の中で、オオサンショウウオの他黒川温泉等を含め、黒川地域を一連とした観光客増加に繋がる取組を行う。

7. 事業環境

【1】市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	
【2】近隣市町で提供されているサービス水準との比較	
【3】代替サービスの有無	

8. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2		拡充
A 事業実施の必要性	2	○	継続実施
実施主体の妥当性	2		改善見直し
B サービス対象の広がり	3		抜本的見直し
B 事業内容等の適切さ	2		休止
受益者負担の適切さ	1		廃止
C 市民ニーズの把握	1		

◆継続実施を行う。
 ◇黒川地域活性化の一環として、継続して取り組んでいく。

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

9. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性			拡充
A 事業実施の必要性			継続実施
実施主体の妥当性			改善見直し
B サービス対象の広がり			抜本的見直し
B 事業内容等の適切さ			休止
受益者負担の適切さ		○	廃止
C 市民ニーズの把握			

事業内容を見直し、歴史観光施設運営事業及び黒川地域活性化事業により実施するため廃止する。

10. 外部評価

評価	評価理由
拡充	/
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

11. 最終評価

評価	評価理由
拡充	2次評価のとおり廃止とする。
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
○ 廃止	

6. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	25年度	26年度	27年度	28年度
延参加者数	1,041	1,008	1,019	933
<変化の理由及びそれへの対応策> 人件費の減				

7. 事業環境

[1]市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	参加者からも継続を望む声が多い。
[2]近隣市町で提供されているサービス水準との比較	民生委員が協力する特色ある独自事業であり、比較はできない。
[3]代替サービスの有無	無

8. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	拡充	◆現状の事業を継続的に実施する。 ◇旧町時代から実施されている特色ある健康と生きがいづくり事業であり、介護予防の側面もある。また、協力者である民生委員の情報収集の場ともなっており、内容を工夫しながら継続していく必要がある。
事業実施の必要性	3	継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	1	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

9. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	拡充	過疎地域における高齢者の生きがい・健康づくり(介護予防)として有効な事業ではあるが、登録者数が対象年齢(60歳以上の高齢者)の割にも満たないことから、市民ニーズを含め、事業内容について参加者増を目指す改善見直しが必要である。
事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	1	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	1	休止	
受益者負担の適切さ	1	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

10. 外部評価

評価	評価理由
拡充	/
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

11. 最終評価

評価	評価理由
拡充	2次評価理由の内容を基に、事業内容を抜本的に見直すこと。
継続実施	
改善見直し	
○ 抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	出会いサポート事業	担当部課	山東支所 地域振興課
予算コード	02 - 01 - 12 - 203 - 01		
款: 総務費	項: 総務管理費	目: 山東支所費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちで子育て《自然増促進》	事業開始年度	評価区分	評価
23	出会い応援事業の推進	H 22	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	本市の重要課題である少子化及び定住促進を図る一つの取り組みとして、市内在住男性と市内外の女性の出会いの場として交流事業を実施し、婚活(結婚活動)を支援する。			
事業の受益者(対象者)	未婚の男女(男性:市内在住者 女性:不問)	受益者数(対象者数)	不特定多数	単位 人
事業の実施内容等	朝来市・山東町のPRや市内外の未婚男女の出会いの場づくりなど特色ある交流事業を募集エリアを拡大して開催した。(ふんど温泉サポートクラブへ事業委託 年3回実施) <参考:平成28年度開催実績> 「第11回ホットなで湯でお結びパーティー」 時期:平成28年5月22日(日) 場所:山東婦人・若者等活動促進施設「もやいの里」ほか 参加:男性44名 女性49名(成立カップル:9組) 「第12回ホットなで湯でお結びパーティー」 時期:平成28年8月28日(日) 場所:山東婦人・若者等活動促進施設「もやいの里」ほか 参加:男性19名 女性17名(成立カップル:5組) 「第13回ホットなで湯でお結びパーティー」 時期:平成28年11月27日(日) 場所:山東婦人・若者等活動促進施設「もやいの里」ほか 参加:男性14名 女性13名(成立カップル:2組) <過去の開催実績(H28.11.27現在)> ・開催回数...13回 ※第2回から委託事業として実施 ・延参加者数...591人(男性:298人 女性:293人) ・カップル成立数...65組 ・成婚者数...11組(山東支所把握分)			

2. 事業費等(単位:円)

事業費内訳	節区分	平成28決算(円)	説明等	前年度決算(円)	
	13.委託料	1,800,000	出会いサポート事業委託料	1,200,000	
	合計	1,800,000		1,200,000	
	財源内訳	特定財源			
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債	1,800,000	過疎地域自立促進特別事業債	1,200,000
	一般財源	0		0	
	合計	1,800,000		1,200,000	
	国庫支出金を除いた比率	100.00%			

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
13.委託料	出会いサポート事業委託料	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,800,000
事業費計		1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,800,000
【4】正規職員人件費		1,034,000	1,073,000	1,965,000	769,620
【5】臨時職員人件費					
【6】総合計		2,234,000	2,273,000	3,165,000	2,569,620
財源内訳	特 定 財 源			0	0
	【7】国庫支出金			0	0
	【8】県支出金			0	0
	【9】地方債	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,800,000
	【10】その他			0	0
	【11】一般財源	1,034,000	1,073,000	1,965,000	769,620
【12】合 計		2,234,000	2,273,000	3,165,000	2,569,620
【13】国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
実施回数	回	2	2	2	3
<変化の理由> 未婚男女への出会いの機会をより多く提供するために平成28年度から年3回の開催とした。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
参加者数	人	77	84	91	156
<変化の理由> 開催回数を年3回に増加したこと及び対象者ニーズが増加していることによるものと思われる。					

5. 今後の方向等

	①	②	③
現在認識している課題	市内在住の女性参加者が少ない。		
今後の方向性、見通し等	登録、他の自治体、NPO法人、民間会社等による同様のイベント開催も増加している。人口変動として容与できる風力ある事業として継続させていくため、有効的な参加啓発と参加者ニーズに応じた内容の見直しを図っていく。		

6. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	25年度	26年度	27年度	28年度
参加者数	29,013	27,060	34,780	16,472
<変化の理由及びそれへの対応策> 人件費の減。効率的な事業展開が行われている。				

7. 事業環境

【1】市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	関係機関及び参加者等からも高い評価を受けており、継続実施を望む声が多い。
【2】近隣市町で提供されているサービス水準との比較	豊岡市が同市社会福祉協議会に委託実施しているが、但馬・丹波地域の多くの自治体では、NPO法人等が実施するイベントに対しての補助金事業となっている。
【3】代替サービスの有無	無

8. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	3	○ 拡充	◆現状の事業を拡充して実施する。 ◇全国的な課題である過疎化や人口減少に寄与する重要な施策である。民間やNPO法人等によるものもあるが、参加者アンケート等でも行政が主体であることが安心感を生むようである。また毎回、定員を大幅に超える申込があることも市民ニーズの高さを表しており、拡充実施すべきと思われる。
事業実施の必要性	3	継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
B サービス対象の広がり	1	抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	3	休止	
受益者負担の適切さ	3	廃止	
C 市民ニーズの把握	3		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

9. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	3	○ 拡充	第2次総合計画に掲げる人口政策に直結する事業であり、成婚率が17%とやや低いものの着実に成果を上げている。人口政策を最重要課題とする本市の目に見える事業として、本市が主体となり実施する必要がある。
事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
B サービス対象の広がり	1	抜本的見直し	
事業内容等の適切さ	3	休止	
受益者負担の適切さ	3	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

10. 外部評価

評価	評価理由
○ 拡充	
○ 継続実施	
○ 改善見直し	
○ 抜本的見直し	
○ 休止	
○ 廃止	

11. 最終評価

評価	評価理由
○ 拡充	2次評価のとおりとする。 現状をより把握しながら、拡大の方向を検討しながらの継続実施とする。実績に関しては、交際状況などの詳細な追跡分析を行うこととする。
○ 継続実施	
○ 改善見直し	
○ 抜本的見直し	
○ 休止	
○ 廃止	

事務事業名(細目)	酒蔵音楽会事業	担当部課	山東支所 地域振興課
予算コード	02 - 01 - 12 - 205 - 01		
款: 総務費	項: 総務管理費	目: 山東支所費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	市民自治のまちづくりに向けた地域協働体制の確立(実現の方策)	事業開始年度	評価区分	評価
32	地域づくり人材・組織の育成支援	H 22	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	山東地域の中心に位置する矢名瀬町は、旧街道沿いの商店街を中心に賑わいと活気のある地域であったが、過疎・高齢化と交通・生活スタイルの変化等により、空き家、空き店舗が増加し商店街は疲弊し閑散としている。この現状からかつての賑わいを取り戻すため、まちなかの再生と活性化を目指す地域組織に対して支援を行い、地域協働によるまちづくりを目指す。			
事業の受益者(対象者)	来場者	受益者数(対象者数)	約500	単位 人
事業の実施内容等	平成23年度から平成25年度までの3年間にわたり、支所提案型地域活性化事業(まちなか活性化事業)として、まちづくり団体「山東新生まちづくりの会」が実施する「酒蔵音楽会」「鉄道展」「まちなかイルミネーション」等のイベント開催に対して行政支援を行ってきた。平成25年度末をもつての支所提案型地域活性化事業の終了に伴い、以降は、当該団体の自主運営事業とする方向で調整してきたが、「酒蔵音楽会」については、聴衆の心の醸成やまちなか活性化に大きく寄与しており、また、来場者や当該団体からも開催を要望する声が強いためから継続して行政支援を行った。 <実施内容(予定)> 時期 平成28年8月18日(木) 1部開演17:00 2部開演19:00 場所 田治米酒造 実施 山東新生まちづくりの会 内容 ヴァイオリン、ピアノ等のプロ演奏者による「蔵シック」音楽会 観客数 約500人 <参考:「山東新生まちづくりの会」の概要> (設立)平成14年10月1日(会員数)個人:20名 企業:11社(年会費)個人:10,000円 企業:20,000円 (活動内容)酒蔵音楽会及び鉄道展の開催・夢街道フェスタin矢名瀬の開催 ・矢名瀬屋(おこのみ焼き)、矢名瀬陣屋、常設展示場の運営			

2. 事業費等(単位:円)

事業費内訳	節区分	平成28決算(円)	説明等	前年度決算(円)
	19.負担金補助及び交付金	1,000,000	酒蔵音楽会事業補助金	1,000,000
合計	1,000,000		1,000,000	
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債	1,000,000	過疎地域自立促進特別事業債	1,000,000
一般財源	0		0	
合計	1,000,000		1,000,000	
国庫支出金を除いた比率		100.00%		

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

[1]節区分	[2]説明	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
19.負担金補助及び交付金	酒蔵音楽会事業補助金	1,669,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
事業費計		1,669,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
[4]正規職員人件費		517,000	537,000	526,000	276,900
[5]臨時職員人件費					
[6]総合計		2,186,000	1,537,000	1,526,000	1,276,900
財源内訳	特 [7]国庫支出金			0	0
	定 [8]県支出金			0	0
	財 [9]地方債	1,669,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
	源 [10]その他			0	0
	[11]一般財源	517,000	537,000	526,000	276,900
	[12]合 計	2,186,000	1,537,000	1,526,000	1,276,900
[13]国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

[1]事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
実施回数	回	1	1	1	1
<変化の理由>					
[2]事業の成果を表す数値					
観客数(チケット販売)	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
観客数(チケット販売)	人	485	499	483	495
<変化の理由> 観客数(チケット販売)は、会場規模からほぼ横ばい状態である。毎年、チケットは完売状態で人気の高さを表している。					

5. 今後の方向等

	①	②	③
現在認識している課題	財政支援(補助金)の継続		
今後の方向性、見直し等	事業評価により財政支援の要否を判断していく。		

6. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	25年度	26年度	27年度	28年度
観客数(チケット販売)	4,507	3,080	3,159	2,580
≪変化の理由及びそれへの対応策≫ 人員数の減。効率的な事業展開が行われている。				

7. 事業環境

[1]市民ニーズ・団体の意見(アンケートなど)	開催継続を望む声が多い。
[2]近隣市町で提供されているサービス水準との比較	近隣市町でもコンサート等のイベントは数多く開催されているが、酒蔵を会場としたコンサートは珍しい。
[3]代替サービスの有無	無

8. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	◆現状の事業を継続して実施する。 ◇夏祭り等における安全管理が最近厳しく問われるようになり、町なかへの夜店出店が困難となったことから、夏祭りが寂しくなったという声も聞かれる。この様な状況の中、地域の賑やかさと活性化を取り戻すことを目的に活動する団体へ一定の行政支援を行うことは適当であると思料する。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	1	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	3	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

9. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	地域資源(酒蔵)を活用したプロの演奏による音楽会で、集客力もあり、所期目的を達成している。 今後は、酒蔵を核とし、企業・住民・梁自協が一体(連携)となり、相乗効果による矢名瀬地域全体の活性化に繋がるイベントに拡大する必要がある。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

10. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

11. 最終評価

評価	評価理由
拡充	2次評価のとおりとし、積極的見直しを図ること。
継続実施	
○ 改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	山歳地内池周辺整備事業	担当部課	山東支所 地域振興課
予算コード	02 - 01 - 12 - 303 - 01		
款: 総務費	項: 総務管理費	目: 山東支所費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちで働く《社会増進》	事業開始年度	評価区分	評価
5	計画的な土地利用と市街地整備の推進	H 26	事業種別	3.施設等整備事業
事業の目的	汚泥等が堆積し、悪臭・害虫が発生する貯水池及び道路・水路の整備と防火水槽の新設を行い、生活環境の改善と消防水利の確保を図る。			
事業の受益者(対象者)	山歳区住民	受益者数(対象者数)	238	単位 人
事業の実施内容等	平成29年度実施の山歳池周辺整備工事(地下式防火水槽の新設、貯水池の整備、周回道路及び水路の整備、既存倉庫等の解体及び撤去)に係る湧水調査及び設計業務			

2. 事業費等(単位:円)

節区分	平成28決算(円)	説明等	前年度決算(円)
13.委託料	1,479,600	湧水調査業務及び設計業務委託料	756,000
15.工事費	0		4,525,200
合計	1,479,600		5,281,200
財源内訳		環境整備事業債	
特定財源			
国庫支出金			
県支出金			
地方債	1,400,000		
その他			
一般財源	79,600		5,281,200
合計	1,479,600		5,281,200
国庫支出金を除いた比率	100.00%		

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

[1]節区分	[2]説明	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
13.委託料	湧水調査業務及び設計業務委託料等			756,000	1,479,600
15.工事費	旧山歳集会所取壊し工事請負費			4,525,200	0
事業費計		0	0	5,281,200	1,479,600
[4]正規職員人件費					86,400
[5]臨時職員人件費					
[6]総合計		0	0	5,281,200	1,566,000
財源内訳	特 [7]国庫支出金			0	0
	定 [8]県支出金			0	0
	財 [9]地方債			0	1,400,000
	源 [10]その他			0	0
	[11]一般財源	0	0	5,281,200	166,000
[12]合計	0	0	5,281,200	1,566,000	
[13]国庫支出金を除いた比率		#DIV/0!	#DIV/0!	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

[1]事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
調査・設計業務委託件数	件			1	1
《変化の理由》 変化なし。					
[2]事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
《変化の理由》					

5. 今後の方向等

	①	②	③
現在認識している課題	地元要望に沿った新たな工事施工及び整理		
今後の方向性、見通し等	地元区及び施工業者と綿密な協議を行い、計画的に工事を進捗させる。		

6. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	25年度	26年度	27年度	28年度
<<変化の理由及びそれへの対応策>>				

7. 事業環境

【1】市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	地元地域から整備を望む声強い。
【2】近隣市町で提供されているサービス水準との比較	比較対象無し。
【3】代替サービスの有無	無

8. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	3	拡充	◆現状の事業を継続して実施する。 ◇地域の生活・防災環境を確保するための事業であり、以前より地元地域からの強い要望があり、計画的に事業を進捗させていく必要がある。
A 事業実施の必要性	3	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	3	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	3	休止	
受益者負担の適切さ	3	廃止	
C 市民ニーズの把握	3		

9. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	3	拡充	地元地域からの強い要望があり平成27年度に事業化。地域の生活環境改善と消防水利の確保を図る事業であり、計画的に推進する必要がある。本事業は、平成29年度で完了する見込みである。
A 事業実施の必要性	3	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	3	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	3	休止	
受益者負担の適切さ	3	廃止	
C 市民ニーズの把握	3		

10. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

11. 最終評価

評価	評価理由
○ 継続実施	2次評価のとおりとする。
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	花づくり運動推進事業	担当部課	朝来支所地域振興課
予算コード	02 - 01 - 13 - 201 - 01		
改: 総務費	項: 総務管理費	目: 朝来支所費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライヴ(社会減抑制)		事業開始年度	評価区分	評価
	12	循環と共生の環境保全の推進	H 17	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	市民と行政が連携して花づくりを展開することにより、安らぎと潤いのある美しい景観を創出し、魅力あるまちづくりを推進する。				
事業の受益者(対象者)	朝来地域住民	受益者数(対象者数)	5,879	単位	人
事業の実施内容等	花づくり運動推進事業 これまでの育苗や花づくり普及活動委託に加え、新たに花壇への植栽(庁舎周辺、朝来体育館、朝来駐在所前等)を委託し、より一層花にあふれる地域を目指す。				
	オープンガーデン事業 個人やグループの庭を一定期間一般に公開する。またオープンガーデン事業を市内外にPRし、花いっぱいのみちとして市民の花づくり意欲を高める。				
	美しい里づくり事業 地域ごとに特色のある花木で修景された美しい里の景観形成を推進するため、花木の植栽や管理を行う地区または地区内グループに対し、花木などの現物支給による支援を行う。				
美しい景観の拠点づくり事業 公共施設や地域の公園、名所等を、花が咲く美しい景観の拠点として整備し、庭園化を進めるとともに、花づくりの輪を広げることとを目的として、個人やグループに対して花苗などを現物支給し、その植栽育苗活動を支援する。					

2. 事業費等(単位:円)

区分	平成28決算(円)	説明等	前年度決算(円)
9.旅費		活動旅費(花いっぱい協会)	
11.需用費	419,040	オープンガーデン冊子、チラシ印刷代ほか	509,788
12.役務費	40,273	新聞折込み手数料	41,164
13.委託料	380,000	育苗、庁舎周辺植栽(花いっぱい協会)	380,000
14.使用料及び賃借料	30,000	ビニールハウス用地使用料	30,000
16.原材料費	179,496	苗木	224,208
合計	1,048,809		1,185,160
財源内訳	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	地方債		
一般財源	1,048,809		1,185,160
合計	1,048,809		1,185,160
国庫支出金を除いた比率	100.00%		

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
8.報償費	事業協力者報償	77,742			
9.旅費	活動旅費(花いっぱい協会)				
11.需用費	オープンガーデン冊子、チラシ印刷代ほか	1,711,999	778,575	509,788	419,040
12.役務費	新聞折込み手数料	44,948	43,302	41,164	40,273
13.委託料	育苗、庁舎周辺植栽(花いっぱい協会)	433,880	321,312	380,000	380,000
14.使用料及び賃借料	ビニールハウス用地使用料	30,000	30,000	30,000	30,000
16.原材料費	苗木	414,480	379,728	224,208	179,496
事業費計		2,713,049	1,552,917	1,185,160	1,048,809
[4]正規職員人件費		580,000	645,000	723,000	15,900
[5]臨時職員人件費		1,927,000	589,000	934,000	1,043,900
[6]総合計		5,220,049	2,786,917	2,842,160	2,108,609
財源内訳	[7]国庫支出金			0	0
	[8]県支出金			0	0
	[9]地方債			0	0
	[10]その他			0	0
	[11]一般財源	5,220,049	2,786,917	2,842,160	2,108,609
	[12]合計	5,220,049	2,786,917	2,842,160	2,108,609
[13]国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
花のポット苗配布数	個	20,000	20,000	20,000	20,000
<変化の理由> 花いっぱい協会会員が高齢化しているが、花のポット苗配布数は横ばいである。花いっぱい協会が安定的に花苗を育苗しているため。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
花の苗栽培人数	人	150	150	200	200
<変化の理由> 花いっぱい協会会員が高齢化しているが、花の苗栽培人数は27年度から増えている。花いっぱい協会会員が栽培に力を入れているため。					

5. 今後の方向等

	①	②	③
現在認識している課題	花づくり運動推進事業 花いっぱい協会会員が高齢化し、会員数も減少している。	オープンガーデン事業 オープンガーデンの出展者が期間中、家を留守にできないなどの理由で、出展する団体が減少している。また一般観覧者も減少している。	美しい景観の拠点づくり 地域住民自身が参加することによって地域の景観を高め、花づくりの輪を広げるため、できる限り自分たちで育ててもらうよう努める。
今後の方向性、見通し等	花づくり運動推進事業 公民館の花講座や朝来地域自治協議会と連携し推進する。、将来は花いっぱい協会の事務局を地域自治協議会に移行する方向で検討する。	オープンガーデン事業 公民館講座や花づくり講座を通じてオープンガーデン出展参加者を募る。また出展者の負担を軽減するため、短期間の開催としている。	美しい景観の拠点づくり事業 関係団体や自治体、委員会を通じて、住民の意識を高め、花づくりの輪を広げるため、できる限り自分たちで育ててもらうよう努める。

6. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	25年度	26年度	27年度	28年度
花の苗栽培人数	34,800	18,579	14,211	10,543
≪変化の理由及びそれへの対応策≫ 事業費が減少傾向である。 25年度にフラワーフェスティバルを開催したため事業費が多い。 25年度に花の拠点整備をしたため事業費が多い。				

7. 事業環境

【1】市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	花の咲き誇る美しい住環境を作ることによって、地域の魅力度を高め、この地域に住んで良かった、住んでみたいと思わせるような地域づくりをしたいという花いっぱい協会会員の意見が多い。
【2】近隣市町で提供されているサービス水準との比較	とよおかオープンガーデンショー 公開箇所19箇所
【3】代替サービスの有無	なし

8. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	◆現状の事業を継続的に実施する。 朝来地域のまちづくりには花が必要であるとの意見が多いため、次年度以降も進めていきたい。 成果単位が減となっている。より効果的・継続的に進めていきたい。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

9. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	◆事業の継続実施 高齢化社会の中で、朝来地域においても人口減少が顕著に表れ、花づくりの取組みにおいても主導する団体会員、個人等の高齢化が進む中で、これに携わる方が減少傾向にあるが、現役を卒業した団塊世代の方も多くおられ、これらの世代へ参画を促す取組み、また、現役世代においても、観賞花木の栽培を趣味とされる方へ参画を促す取組みを推進する中で、地域の景観美化を推進しつつ、地域住民、来訪者へ花による感動を与えるための地域づくりにおいて重要な事業であると考えます。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

10. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

11. 最終評価

評価	評価理由
拡充	事業内容、成果等を検証・協議し、内容を再度検討すること。
継続実施	
○ 改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	朝来特産品PR事業	担当部課	朝来支所地域振興課
予算コード	02 - 01 - 13 - 200 - 01		
款: 総務費	項: 総務管理費	目: 朝来支所費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちで働く《社会増進》	事業開始年度	評価区分	評価
7	付加価値を高める農畜産業の振興	H 23	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	地元野菜の販売を通して朝来の特産物をPRし、朝来のリピーターとしての交流人口を拡大する。地元農家等と連携して、地元小・中学生に特産岩津ねぎの植え付け・収穫体験・料理実習を通して、岩津ねぎの歴史や地域活性化の取組を学び、農業の大切さ、地元地域、地元特産物への誇りや愛着を育むことを目的とする。			
事業の受益者(対象者)	朝来地域住民	受益者数(対象者数)	5,879	単位 人
事業の実施内容等	朝来地域自治協議会と連携し、種子畑桜まつり、ふれあい元気まつり、播磨町での地元野菜などの特産品販売・PR活動を展開する。地元農家等と連携して、地元小・中学生に特産岩津ねぎの植え付け・収穫体験・料理実習を行う。			

2. 事業費等(単位:円)

区分	平成28決算(円)	説明等	前年度決算(円)
8.報償費	110,000	栽培指導報償、協力者謝礼	130,000
9.旅費	5,900	職員旅費	92,070
11.需用費	39,572	栽培体験消耗品等、種子畑桜まつり消耗品	96,237
12.役務費	7,128	新聞折込料	
13.委託料	100,000	体験圃場農作物管理	100,000
14.使用料及び賃借料	2,000	出店料	50,000
合計	264,600		468,307
財源内訳			
特定財源			
国庫支出金			
県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	264,600		468,307
合計	264,600		468,307
国庫支出金を除いた比率	100.00%		

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】区分	【2】説明	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
8.報償費	体験学習等協力者謝礼	110,000	100,000	130,000	110,000
9.旅費	職員旅費等	194,050	181,170	92,070	5,900
11.需用費	岩津ねぎキャンペーン材料代、その他消耗品	297,215	91,947	96,237	39,572
12.役務費	新聞折込料				7,128
13.委託料	体験圃場農作物管理	80,000	100,000	100,000	100,000
14.使用料及び賃借料	出店料	60,000	55,000	50,000	2,000
18.備品購入費	出店用テント購入費	99,750			
事業費計		841,015	528,117	468,307	264,600
【4】正規職員人件費		1,669,000	1,773,000	1,669,000	210,850
【5】臨時職員人件費			187,000	182,000	
【6】総合計		2,510,015	2,488,117	2,319,307	475,450
財源内訳					
特	【7】国庫支出金			0	0
定	【8】県支出金			0	0
財	【9】地方債			0	0
源	【10】その他			0	0
内	【11】一般財源	2,510,015	2,488,117	2,319,307	475,450
訳	【12】合計	2,510,015	2,488,117	2,319,307	475,450
	【13】国庫支出金を除いた比率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
小中学生体験学習開催数	回	6	8	9	9

《変化の理由》

小中学生体験学習開催数が微増なのは、土寄せ体験学習、調理実習等が増えているため。

【2】事業の成果を表す数値

体験学習参加者数	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
	人	240	250	650	650

《変化の理由》

平成27年度からの学習参加者数の増は、山口小学校が4年生対象だったのを全校児童に2回体験学習を広げたため。

5. 今後の方向等

	①	②	③
現在認識している課題	各イベントや播磨町で地元農産物の販売・PR活動を積極的に展開しており、朝来地域自治協議会・地元農家等との密な連携が必要である。	地元小・中学生に農業の大切さや、地元地域、地元特産物への誇りや愛着を育む必要がある。	
今後の方向性、見直し等	朝来地域自治協議会と地元農家等と連携し、各イベントや播磨町での地元野菜などの特産品販売・PR活動を展開し、地域活性化に努める。	地元農家等と連携して、地元小・中学生に特産岩津ねぎの植え付け・収穫体験・料理実習を通じて、岩津ねぎの歴史や地域活性化の取組を学び、農業の大切さ、地元地域、地元特産物への誇りや愛着を育む。	

6. 成果単位あたり金額(円)

[1]単位あたり金額	年 度			
	25年度	26年度	27年度	28年度
体験学習参加者数	10,458	9,952	3,568	731
<変化の理由及びそれへの対応策> 体験学習を平成27年度から山口小学校の4年生対象だったのを全校児童に2回上げたため成果単位が減少となった。 平成28年度の事業費・人員費が大幅減となっているため。				

7. 事業環境

[1]市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	小中学校からは、郷土の特産品を理解するために、栽培体験学習や料理実習を行ってほしいとの意見を多く聞く。H28から朝来地域自治協議会の意向により特産品直売活動を終了した。
[2]近隣市町で提供されているサービス水準との比較	なし
[3]代替サービスの有無	なし

8. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	◆継続実施 小中学校からは、郷土の特産品を理解するために、栽培体験学習や料理実習を行ってほしいとの意見が多く、栽培体験学習を翌年度以降も継続したい。 H28から朝来地域自治協議会の意向により特産品直売活動を終了した。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

9. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	◆事業の継続実施 岩津ねぎは朝来地域が発祥地であり、また、日本3大ねぎの一つであり、当地域の特産品としても広く知られているが、郷土の誇りとして、この伝統を継承していくが重要であることから、小中学生を対象に、岩津ねぎの理解を深めていただくため、補え付け、管理、収穫に至る栽培体験学習や料理実習をとおして伝統の継承、次世代の担い手の育成を図るための事業として継続して実施する必要がある。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

10. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

11. 最終評価

評価	評価理由
拡充	外部へのPRをより強化し、実施すること。
継続実施	
○ 改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	朝来地域交流・活性化事業	担当部課	朝来支所地域振興課
予算コード	02 - 01 - 13 - 203 - 01		
款: 総務費	項: 総務管理費	目: 朝来支所費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちで働く《社会増促進》		事業開始年度	評価区分	評価
	6	多文化交流の推進	H 17	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	地域内、地域外の交流活動を推進し、交流を通じて連帯感を醸成すると共に、地元特産物などの物流を活性化して、地域の活性化を目指す。				
事業の受益者(対象者)	朝来地域住民	受益者数(対象者数)	5,879	単位	人
事業の実施内容等	ふるさと朝来会との交流事業 関西圏在住の旧朝来町出身者で構成する「ふるさと朝来会」と連携し、会員を増やすと共に会員へ朝来市の情報を積極的に発信して朝来市への応援活動を呼びかける。 朝来ふれあい元気まつり 地域内外の交流と活性化を目指し、朝来地域自治協議会を始め、関係機関や各種団体が朝来支所前に会し、「朝来ふれあい元気まつり」を開催する。また、ふるさと朝来会を招待するなど市内外から多くの方々に朝来の良さをPRし、活力ある地域づくりを推進する。加えて、朝来文化協会主催の文化祭「あさご劇場」と同日開催により集客力を高める。				

2. 事業費等(単位:円)

事業費内訳	節区分	平成28決算(円)	説明等	前年度決算(円)
	8.報償費	40,048	事業協力者謝礼等(元気まつり)	43,907
9.旅費	6,660	職員旅費(ふるさと朝来会)	11,880	
11.需用費	148,407	チラシ印刷費・大なべ材料代(元気まつり)	137,034	
12.役務費	18,020	郵便代(ふるさと朝来会)、傷害保険料(元気まつり)	18,099	
14.使用料及び賃借料	119,208	資器材借上げ(元気まつり)	131,952	
合計		332,343		342,872
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
一般財源		332,343		342,872
合計		332,343		342,872
国庫支出金を除いた比率		100.00%		

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
8.報償費	事業協力者謝礼等(元気まつり)	204,100	100,884	43,907	40,048
9.旅費	職員旅費(ふるさと朝来会)	10,200		11,880	6,660
11.需用費	チラシ印刷費・大なべ材料代(元気まつり)	166,375	127,103	137,034	148,407
12.役務費	郵便代(ふるさと朝来会)、傷害保険料(元気まつり)	70,892	69,821	18,099	18,020
14.使用料及び賃借料	資器材借上げ(元気まつり)	3,000	229,152	131,952	119,208
事業費計		454,567	526,960	342,872	332,343
【4】正規職員人件費		983,000	740,000	1,031,000	218,550
【5】臨時職員人件費		107,000	53,000	52,000	
【6】総合計		1,544,567	1,319,960	1,425,872	550,893
財源内訳	特【7】国庫支出金			0	0
	定【8】県支出金			0	0
	財【9】地方債			0	0
	源【10】その他			0	0
	【11】一般財源	1,544,567	1,319,960	1,425,872	550,893
【12】合計	1,544,567	1,319,960	1,425,872	550,893	
【13】国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
朝来ふれあい元気まつり開催回数	回	1	1	1	1
ふるさと朝来会会員数	人	196	194	171	143
《変化の理由》	ふるさと朝来会会員数は高齢化により減となっている。				
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
《変化の理由》					

5. 今後の方向等

	①	②	③
現在認識している課題	ふるさと朝来会との交流事業相互のメリットを考慮した交流を続けて、より多くの会員を呼び、朝来の地域発展に繋げることが必要である。	朝来ふれあい元気まつり朝来地域自治協議会と連携して、地域内、地域間交流を進めているが、自治協や地域の主体的な活動を促していく必要がある。	
今後の方向性、見通し等	ふるさと朝来会との交流事業情報提供や案内を続け、イベント等への参加を呼び、朝来市とのつながり、交流を深めると共に、朝来市の活動に理解と協力を求める。「朝来ふれあい元気まつり」を開催し、今後も、ふるさと朝来会を招待するなど市内外から多くの方々に朝来の良さをPRする。	朝来ふれあい元気まつり自治協組織や各団体活動を充実させ、行政と自治協の役割や特性を活かして連携し、誘客に事業に取り組み交流人口の増加を図る。今後も文化協会「あさご劇場」と同日開催し、集客力を高める。	

6. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	25年度	26年度	27年度	28年度
《変化の理由及びそれへの対応策》				

7. 事業環境

【1】市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	【ふるさと朝来会】会員から、朝来市とのつながりや交流を深めたいとの意見が多い。 【朝来ふれあい元気まつり】市民から継続開催してほしいとの意見が多い。
【2】近隣市町で提供されているサービス水準との比較	なし
【3】代替サービスの有無	なし

8. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	◆現状の事業を継続的に実施する。 【ふるさと朝来会】会員から、朝来市とのつながりや交流を深めたいとの意見が多いため継続開催としたい。 【朝来ふれあい元気まつり】市民から継続開催してほしいとの意見が多いため。また、朝来地域を代表するまつりであり、多くの方が参加するため継続開催としたい。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

9. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	◆事業の継続実施 朝来地域出身者で組織される「ふるさと朝来会」会員においては、郷土朝来への愛着心。また、朝来町交流協会員との地縁関係者も多く、朝来地域との交流を重要視されておられることから「朝来ふれあい元気まつり」へも参加され、また、朝来町交流協会においては、京阪神で開催される「ふるさと朝来会」総会・交流会に参加し交流を推進している状況から、当事業については、朝来地域として重要なり船身であり継続して実施していく必要がある。また、「朝来ふれあい元気まつり」では、文化協会実施の文化祭事業である「あさご劇場」と同時開催しており、来場者数の増加を図るなか、前述の交流を含め、地域間交流として朝来地域の活性化に寄与している。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

10. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

11. 最終評価

評価	評価理由
拡充	継続実施とするが、「ふるさと朝来会」について、内容を再度検討すること。 元気祭りの参加者数を把握し、指数の再考を行うこと。
○ 継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	たたらぎダム湖マラソン事業	担当部課	朝来支所地域振興課
予算コード	10 - 06 - 01 - 004 - 01		
款: 教育費	項: 保健体育費	目: 保健体育総務費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライフ【社会減抑制】	事業開始年度	評価区分	評価
13	生涯学習・生涯スポーツの推進	H. 17	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	朝来市たたらぎダム湖マラソンのスポーツイベントを通じて、全国のランナーに朝来の景観や特産物をPRし、朝来のリピーターとしての交流人口を拡大する事業。			
事業の受益者(対象者)	市内外のランナー・応援者	受益者数(対象者数)	4000 (公式発表)	単位 人
事業の実施内容等	<p>たたらぎダム湖マラソン実行委員会を支援し、行政と協働して事業を実施。 朝来市最大のスポーツイベントを開催するための補助金。 平成27年度は30回記念大会と市制10周年記念という事で記念事業を実施する。 また、当日はランナーを対象に但馬牛や岩津ねぎなど特産品が当たるお楽しみ抽選会や、バザーなども開催して全国のランナーに朝来の景観や特産物のPRを行い、朝来のリピーターとしての交流人口を拡大する。</p> <p>第31回たたらぎダム湖マラソン大会 開催日 平成28年6月5日(日) 場所 多々良木ダム湖周辺 部門 ハーフマラソン、10km、5km、ジョギング2km 主催 たたらぎダム湖マラソン大会実行委員会 参加者 2,222名</p>			

2. 事業費等(単位:円)

事業費内訳	節区分	平成28決算(円)	説明等	前年度決算(円)	
	19.負担金補助及び交付金	4,400,000	たたらぎダム湖マラソン大会補助金	4,400,000	
	合計	4,400,000		4,400,000	
	財源内訳	特定財源			
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
	一般財源	4,400,000		4,400,000	
	合計	4,400,000		4,400,000	
	国庫支出金を除いた比率	100.00%			

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
19.負担金補助及び交付金	たたらぎダム湖マラソン大会補助金	4,400,000	4,400,000	4,400,000	4,400,000
事業費計		4,400,000	4,400,000	4,400,000	4,400,000
【4】正規職員人件費		3,687,000	5,126,000	4,397,000	4,108,590
【6】臨時職員人件費		1,178,000	1,044,000	597,000	353,600
【6】総合計		9,265,000	10,570,000	9,394,000	8,862,190
財源内訳	特 定 財 源			0	0
	【7】国庫支出金			0	0
	【8】県支出金			0	0
	【9】地方債			0	0
	【10】その他			0	0
	【11】一般財源	9,265,000	10,570,000	9,394,000	8,862,190
【12】合 計		9,265,000	10,570,000	9,394,000	8,862,190
【13】国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
周知用募集要項配布数	枚	10,000	10,000	10,000	10,000
周知用ポスター配布数	枚	200	200	200	200
<<変化の理由>> 変化なし。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		25年度	26年度	27年度	28年度
マラソン参加選手数	人	2,236	2,240	2,319	2,222
<<変化の理由>> マラソン参加選手数は横ばいである。駐車場に限りがあるのと、走路(道路)の幅員が狭いため、多くなると大変危険なため、参加申込み人数をハーフ1,000人、5km・10km1,000人とジョギング500人としているため。					

5. 今後の方向等

	①	②	③
現在認識している課題	全国ネットのスポーツイベントとして継続して朝来市のPRを行うことが必要である。	大会運営は実行委員会で行っているが、消費税の増徴、バス代の値上げなど必要経費が増大している。	
今後の方向性、見通し等	朝来市が行う全国ネットのスポーツイベントとして、より充実した大会とし、継続して朝来市のPRを積極的に行う。	必要経費の増大に伴い、平成27年度の大会から参加料を3,000円から3,500円に値上げを行っており、健全な運営に努める。	

6. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	25年度	26年度	27年度	28年度
マラソン参加選手数	4,144	4,719	4,051	3,988
<変化の理由及びそれへの対応策> 事業費が横ばいであり、成果単位に変化はあまりない。				

7. 事業環境

[1]市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	インターネット(ランネット)での意見では、満足度が高い。また、リピーターが多いのは、満足度が高いと思われる。
[2]近隣市町で提供されているサービス水準との比較	兵庫神鍋高原マラソン全国大会 参加選手数4,517人 兵庫市川マラソン全国大会 参加選手数1,544人
[3]代替サービスの有無	なし

8. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	◆現状の事業を継続的に実施する。 朝来市たたらぎダム湖マラソンのスポーツイベントを通じて、全国のランナーに朝来の景観や特産物をPRすることや、朝来のリピーターとして交流人口を拡大するためにも、継続して開催する必要がある。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

9. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	◆事業の継続実施 当事業については、朝来市を代表する広域的スポーツイベントであり、朝来市を広くPRする絶好の機会として大変重要な事業であると考えられる。例年、日本各地からの参加者があるなかで、朝来の特産品を食品として提供しつつ、また、史跡、遺産等をPRし、朝来へのリピーター、交流人口の拡大による地域の活性化を目的とした取り組みとして、継続して開催する必要があると考える。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

10. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

11. 最終評価

評価	評価理由
○ 継続実施	2次評価のとおりとする。
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	